

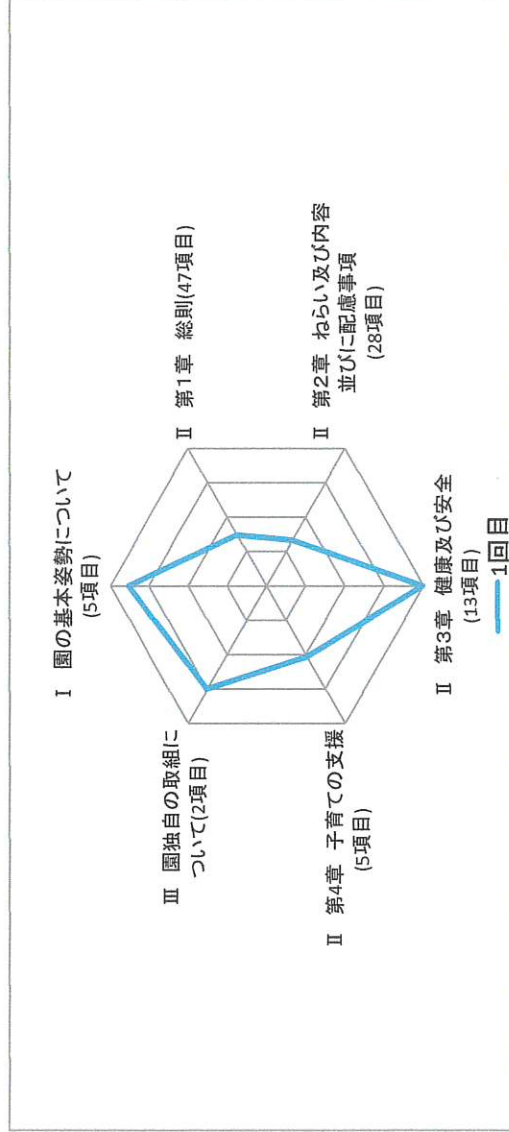
<評価方法>  
十分理解できている(十分できている)…◎3点 理解している(できている)…○2点 ふつう…▲1点 努力が必要…×0点

集計結果（チェック3回分）

評価	1回目					2回目					3回目					
	◎	○	▲	×	◎	○	▲	×	◎	○	▲	×	◎	○	▲	×
I 園の基本姿勢について(5項目)	7	51	16	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
II 第1章 総則(47項目)	77	344	243	86	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第2章 ねらい及び内容並びに配慮事項(28項目)	22	233	154	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第3章 健康及び安全(13項目)	26	123	46	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第4章 子育ての支援(5項目)	9	38	25	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
III 園独自の取組について(2項目)	0	22	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

回答人数 16人  
入力してください

レーダー



# 令和4年度 施設の自己評価

## 第一章 総則…

- ・ 幼保連携型認定こども園における教育及び保育の基本の及び目標の内容の確認をし、こども園において園児一人一人の資質・能力を育めるよう「知識及び技能の基礎」「思考力、判断力、表現力等の基礎」等の『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿』10項目について、研修等で周知していく。
- ・ 地域の方を招待し、こども園の取り組みや、子どもたちの姿を実際に見ていただき、交流を持てるようにしていく。

## 第二章 ねらい及び内容並びに配慮事項…

- ・ 生きる力の基礎が培われる乳幼児期に、子どもの発達過程や特性、家庭環境をよく理解し保育することを心がける。
- ・ 各年齢ごとの発達過程の確認をしながら個々の発達の差に留意をして保育教育をしていく。

## 第三章 健康及び安全…

- ・ 感染症対策を行いながら園児一人ひとりの体調の変化に気づけるよう視診をしっかりと行い、すぐに対応できるようにしていく。個々の様子や発達状況も把握していく。
- ・ ヒヤリハット・ケガについては回覧し、職員全体で問題を共有していく。
- ・ 食育では、クッキング、栽培を通して食べることの大切さ、楽しさを伝え、食への興味関心につなげていけるようにしていく。

## 第四章 子育ての支援…

- ・ 子どもの姿をお家の方に伝えたり、園とは違った家庭での様子を聞いたりして子どもの育ての姿を家庭と連携をして支援していく。
- ・ 保護者からの思いや意見が出た時には、速やかに園長に連絡をする。園全体で『報告・連絡・相談』を常に心がける。
- ・ 市町村の支援を得て、地域の関係機関との積極的な連携を図るとともに、子育て支援に積極的に取り組むよう努めていく。